



R5年度



SSH生物体感校外学習

～磯観察～



和歌山県加太の磯で、生物観察会を行います。
学校では見ることができない海の生物の多様性や生態系を、
フィールドワークを通して体感しましょう。

☆大阪大学大学院 古屋秀隆教授（海洋生物学）ご参加予定

日付：5月5日（金）

※雨天の場合、5月7日（日）に延期

場所：和歌山県加太 城ヶ崎

時間：10時30分 南海電鉄「加太」駅に現地集合
14時30分頃 現地解散予定

定員：20名程度

（参加希望者が定員数を大幅に超えた場合は抽選を行います。）

※4月27日（木）放課後に説明会と事前学習を行います。

申し込み：右のQRコードからgoogle form
で申し込んでください。

QRコードから申し込みできない人は、
生物準備室で申し込み用紙を書いてください。



締切：4月24日（月）16：00

<昨年度の様子>



↓古屋教授のミニレクチャー



様々な生物が見つかります→



<事後学習で作成したレポート例>

クロヘリアメフラシ (黒縁雨虎) 学名: *Aplysia parvula*

軟体動物門 腹足綱 異鰓上目 後鰓目 無楯亜目 アメフラシ科 アメフラシ属

特徴/生態: 体長10cm, 水深10m以上の岩礁の落葉の中に住み、餌も落葉。全体は赤茶色で名前の通り側足(体の後方のひらひらとした部分)が黒く縁どられ、白い点がある。鰓状の印塊(陥果)を産卵する。体色には変異が見られ、斑点が大きかったり、斑点のない個体も見られる。

分布: 北海道から九州

観察して気づいたこと: アメフラシはカタツムリと共通して4本の触角をもつが目の位置は異なり、アメフラシは触角の付け根にある。なぜこのような違いがあるのだろうか?

出典: 『海洋生物ガイドブック』東海大学出版会
<https://www.chiba-muse.or.jp/UMIHAKU/shizen/iso/nantai/kuroheriamefurashi.htm>

側足

カエルウオ 学名: *Istiblennius edentulus*

骨索動物門 硬骨魚綱 スズキ目 イソギンポ科

特徴/生態: 岩礁性海岸の潮間帯やタイドプールに生息するイソギンポの仲間。体色は普通こげ茶色で黒い横縞模様があるが、遠目には黒一色に見える。目の上に1対の糸状皮膚がある。口の横に生えた牙で削り取るようにして、岩についた藻類を食べる。全長12cmになる。前から見るとカエルのような顔で、若などの上をびんびんはねることからこの名前がついた。

分布: 兵庫県以南の日本海沿岸、長崎半島以南の太平洋岸から九州以北の南日本。

観察して気づいたこと: 採集容器の壁に足のようなとっつきついていた。そうすると落ち着くのか、削っておくと端の方で丸くなっていることが多かった。他の生物より比較的多く見られた。

出典: https://www.env.go.jp/nature/nco/kinki/kushimoto/JP/zukan/fish/fish0366_keeruuo.html

質問等あれば、生物準備室 山本那 or 鈴木まで